

INAXガレリアセラミカは“新鋭作家による新しいやきものの表現の場”として企画展を開催しています。

## 児玉 衣未 展

陶 いのち芽吹くかたち

会期 = 2008年6月6日(金)~7月1日(火)

休廊日 = 日祝

開館時間 = 午前10:00 ~ 午後6:00

作家によるアーティスト・トーク開催 = 6月6日(金) 午後6:30 ~ 7:00

会場 = INAXガレリア セラミカ

東京都中央区京橋3 - 6 - 18 INAX:GINZA2F TEL03-5250-6530

企画・制作 = 株式会社INAX

入場無料

INAXの文化活動ホームページアドレス<http://www.inax.co.jp/culture/>



「無題」 2007 26.5 × 51 × 35cm

次回予告

玄 尚哲 展

2008年7月4日(金) ~ 8月2日(土)

INAX ガレリアセラミカでは児玉衣未(Kodama E mi)展 陶 いのち芽吹くかたち を開催します。(2008年6月6日～7月1日)

水中で空気が無数の泡となって岩にびっしりと張り付いているさま、ニョキニョキとおびただしい数の小さな芽が地面より芽吹いているさま 児玉の陶による作品は、1cmほどの青味がかかったフジツボ状のかたちが、数え切れないほど張り付けられています。

大きさは40～50cmで、石や岩のような塊の上に張り付いていたり、お皿のような断片状のものもあります。

いずれも青味を帯びた緑釉が清々しく、釉薬の下から白土が透ける作品は、海中生物のようです。また赤土でつくられた作品は、豊穰な土に芽吹いた植物のような、生き生きとした印象があります。生命力を感じさせる迫力のある作品です。

児玉は、愛知教育大の中島晴美先生のクラスの卒業生です。卒業して1年が過ぎましたが、一旦郷里に帰った後、改めて愛知県に戻って制作を続けています。

児玉の郷里は倉敷市の瀬戸内海に面した町で、幼少から海や海の生物に親しんできました。土を捏ね、釉薬を掛け、焼成し、生み出されたかたちは、その海の表情や生物の生命力を映したような姿です。

学校を卒業し、恩師や才能あるクラスメイトという恵まれた環境を離れて、踏み出した1歩にたじろぎながらも、今展では、初めての白磁土による作品にも挑戦しています。

穏やかな陽光きらめく海の透明感を表現するかのよう、白磁土で海草や珊瑚、貝の器官を想像させる、柔らかく水明な質感をつくり出しています。

今展は、児玉衣未の初個展開催となります。約6点ほどを発表する予定です。

児玉のいのちの芽吹きを感じさせる、瑞々しくもダイナミックな作品をぜひご覧下さい。

#### [児玉衣未プロフィール]

1984年 岡山県生まれ

2007年 愛知教育大学 造形文化コース卒業

愛教大の造形展(愛知県陶磁資料館/愛知)